

「だろう」の意味と働き - 助動詞から終助詞まで -

三枝令子

要旨

従来「推量」の助動詞と呼ばれる「だろう」は、活用せず、常に話し手の主観を表す点で他の助動詞と区別される。また、近年「これ使ってもいいでしょう」「さっき言ったでしょ」といった「だろう」の終助詞用法が目立って研究が進んでいる。本稿では、「だろう」の「想像（本稿では他の推量の助動詞と区別するために「想像」と呼ぶ）」から「確認」にいたる「だろう」の用法を観察し、意味・用法の違いがどのように生じているのかを検討する。そして、同時に、「確認」と呼ばれる終助詞的な用法にも「だろう」の基本的な意味である「主観的な想像」が保たれていることを見る。

キーワード：だろう、だろ・でしょ、ことだろう、じゃない、情報の縄張り理論

1. 「だろう」の基本的意味・用法

1.1 「だろう」の基本的意味

金田一（1953）は「う・よう」「だろう」は、終止形しかないこと、他の助動詞に上位しえない点から、これを不変化助動詞とよび、従来の助動詞と区別した。金田一は「他の活用のある助動詞は、客観的表現をする助動詞」なのに対して、「う・よう」「だろう」等は「話者のその時の心理内容を主観的に表示する」性格を持つと論じている。寺村（1984）は、「だろう」を「話し手自身の発話時の心の状態の直接的表現」とし、これまた主観性の強い表現であることを指摘している。「だろう」は、独立した語としての「だ」の活用形（たとえば、宮田（1948）、日下部（1956））という「だ」と対置される面も持っているが、モダリティにも含まれる面も持っている。

「だろう」の意味については、次の奥田（1984）の説明を基本的なものとする。

経験の中にすでに確認されている事実、あるいはすでに証明されている判断をよりどころに、そこから想像あるいは思考によってあらたにひきだされる出来事をえがきだしている。

三上（1963）は、「だ、する、した」の定言法に対して、「だろう、するだろう、しよう」を概言法と呼ぶ。また、奥田（1985）は、「だ（する）」の「いきりの文」に対して、「だろう（するだろう）」を「おしはかりの文」と呼んで区別する。三上（1953）では「だろう」を「推量形」と呼んでいるが、その後三上（1955）では「らしい」と区別するために「想像」に用語を換えている。ここでもそれに従う。

さて、この「想像」の「だろう」は、書き言葉の言い切りの形でよく用いられる。

- (1) 織口さんは正しかった。彼はどうしたろう……警官に撃たれて倒れるところを見た。どこを撃たれたのだろう? どの程度の傷だろう。いや、もう死んでいるかもしれない。(スナーク)
- (2) テレビにとって、最も問われるのは、その内容だろう。(略)あるニュースキャスターがやや自嘲気味に「国民は、自分の身の丈に見合ったメディアしかもてない」と語っていたことがあるが、テレビの内容を最後に決めるのは、やはり見る側のレベルなのであろう。(日経)

上が小説の例、下は新聞の例である。新聞記事や論文等の書き言葉では「だろう」「のだろう」「ではないだろうか」等がよく用いられる。

次のように「だろう」が回想、反語的な意味を表す場合もある。

- (3) この時間を何か別のことに打ち込んでいたら、その分野で一家を成していたのではないか。そんな風に思う時もあるが、他にどれほど夢中になれるものがあっただろう。(朝日)
- (4) 私にその資格がないとだれがいうことができるだろう。(奥田)

書き言葉ではないが、独り言の場合にも「だろう」は「想像」の意味を明らかに含んでいる。

- (5) 山の上は寒いだろうな。
- (6) この町はこれからどのように変わるんだろう。
- (7) なんて早いんだろう。

また、引用節、連体節の「だろう」は「想像」の意味を残す。

- (8) 彼は来るだろうと思う。
- (9) 彼が反対するであろうことは容易に想像できた。

従属節内の「だろう」も「想像」の意味を持つ。この場合の「だろう」は、丁寧体の「でしょう」と交替し得る点で、独り言や引用節、連体節の場合と異なる。

- (10) 心が痛むだろうが、あなたが投げ出したら羊華堂は潰れる。一生、重荷を背負う覚

悟でおやりなさい。(日経)

- (11) 先生もお疲れでしょうが、早速、打ち合わせをさせていただきます(長崎)
- (12) 向こうのお母さんは、着物の目利きだろうからね(スナーク)
- (13) そんな食事を子供の時から続けたら、大人に成長しきれずに死ぬだろうし、なにかの加減で成人できたとしても、早死にするでしょう。(美味)
- (14) 全国のあちこちで、イジメを苦に自殺した中学生が何人も出ている。小学生でもイジメはあるのだろうに、自殺するところまでいかないのは、深刻さの度合いが違うからか。(幽霊)

推量を表す形式としては、「だろう」の他に、古くから「う・よう」が使われてきた。現代語でも話し手の意志を表す場合だけでなく、次の例のように想像を表す場合にもこの「う・よう」の形が使われる。

- (15) 隠居生活みたいですけれど、忙しいときには桜が咲こうが散ろうがまったく無頓着だったのが、家の桜の大木に目がいくようになりました。(朝日)
- (16) だが、そういう資質が、どれほど会社のなかで重宝がられていようと、部下たちに好かれようと、頼りにされようと、一方では家庭を壊しかけていることも事実だ。(スナーク)

「う・よう」の形は、無意志動詞、可能動詞、形容詞の場合には「想像」を表し、意志動詞の場合には「意志」を表すという使い分けがある。しかし、最近では「う・よう」を本本来使っていないところでも「だろう」を使うことが多いようだ。

1.2 「ことだろう」「のだろう」の意味

「だろう」がよく使われる組み合わせとして「ことだろう」「のだろう」という結びつきがある。

「ことだろう」が使われる場合には大きく次の三つがある。

- 1 名詞述語文「～は～(という)こと(だ)」だろう
- 2 感嘆文「なんと～こと(だ)」だろう
- 3 叙述文+ことだろう

次の(17)(18)は1の、(19)(20)は2の、(21)(22)は3の例に当たる。

- (17) 適応性が強いということは、他の昆虫には住めないような悪い環境でも、平気だということだろう。(砂の女)

- (18) しかし注目すべきは「温泉そのもの」という温質や湯量にこだわった項目が第三位に入ったことだろう。(温泉)
- (19) 鳩宮とは反対に、妻のエミヤは、何とちがった生き方をしていることだろう。(塩狩峠)
- (20) 一流選手は何と速く走ることだろう。
- (21) このぶんでは我々の残した足あともすっかり消えてしまったことだろう。(ハード)
- (22) 下手をすれば、今までのイメージは見事に壊され、人気は地に落ちる。今の志穂子の生活以上に惨めな日々が彼女を待っていることだろう。(幸福)

上の例文(17)～(20)を見ると、名詞述語文、感嘆文では「こと」が省きにくいことがわかる。これは、「こと」が助動詞の前の文の要素となっているためである。それに対して、例文(21)(22)の「ことだろう」は、「こと」がなくてもまったく不自然さはない。こうした場合の「ことだろう」「だろう」の違いは小さいということだが、それでもいくらか違いはあるように感じられる。次の(23)は、「ことだろう」「だろう」が両方使われている。

- (23) 「急行能登」。21時ちょうどに上野駅を出る。そういう列車はたしかにあるのだ。金沢駅着は明朝5時42分。順調に走っているならば、今頃は軽井沢と小諸の間あたりにいることだろう。夜の早い織口は、もう眠っているかもしれない。B寝台は狭いから、小太りのあの人には少し窮屈だろう。(スナーク)
- (24) 全くの話、子供は何もわからずに、ただおもしろ半分に雪つぶてを投げたのだ。だが、もしま近にいたとしたら、自分は果たして子供たちを許したことだろうかと、信夫は思った。彼らをつかまえて問いつめ、あるいはゲンコツのひとつもくれてやったことだろう。(塩狩峠)

述語に直接「だろう」が接続すると、視点が一貫して話し手にあると感じられるのに対して、「ことだろう」では、事態を名詞化して受ける点で、ことがらが切り出され、客観的に述べ立てている感じがある。そのため、物語の進行を並べ立てて語るときには「ことだろう」がよく現れるようだ。

「のだ」は「の」に「だ」が付いたものだが、「だろう」と「のだろう」もそれに呼応している。

- (25) この仕事は彼には難しいだろう。
- (26) 彼はこの仕事断ったそうだ。この仕事は彼には難しいのだろう。

両者の違いは、「だろう」が初出の発話で可能なのに対して、「のだろう」は発話の前提を必要とする点である。その説明、そこから起こる疑問の意味を持つ。

2. 待遇用法

三上(1963)は、「だろう」「でしょう」は確信度が弱く、相手に同調の余地を残すと考えた。一方、奥田(1984)は、森田(『基礎日本語辞典』)が「だろう」を「断定を保留するときに用いる言い方」とみなしたことについて、「想像とか判断とかが確実な、じゅうぶんな根拠にもとづいて、正当な論理的な手づきによってくみだてられていれば、その対象的な内容としての出来事は、たしかなものとしてあらわれる。」と、「だろう」で述べられるから不確かであることにはならないと批判した。たとえば、「夫人はあおくなった。あのことが警察にわかったら、ただではすまないだろう。だから、夫人は一番上等の訪問着をきることにした。」のような例を示している。奥田が指摘するように「だろう」の表す「想像」の世界で、確信的なことは言える。しかし一方で、奥田(1985)にもあるように「だろう」には「きき手、よみ手のことを配慮しながら、主張のきつさをやわらげるため、事実をぼかしてしまう」働きもある。言い切れることに「想像」の形を使うことで、待遇的には聞き手への遠慮を表現することができる。聞き手に遠慮しながら話し手の考えを述べたり、質問するときにはこの働きがよく用いられる。ただし、「だろうか」「でしょうか」は、質問と言っても相手に問いかけるというより質問を投げ出していると言える。こうした用法を「婉曲」と呼ぶことにする。ここでは、対話の相手が存在することによって普通体「だろう」と丁寧体「でしょう」の使い分けがある。

(27) 「へえー、そんなふうには見えませんがねえ。まだ若いようだし」

「年齢はそう関係ないでしょう。ピアノでもバイオリンでも、この頃はローティーンが活躍しています」(夏泊)

(28) 「この辺りで椿神社といえば、ここだけでしょうね」

「この辺ではそうですけど、でも、鈴鹿には椿大神社がありますよ。向こうの方が有名です」(夏泊)

(29) 「またいつかお会いできるといいですね」

「さあ、どうでしょうか。たぶん二度とお会いすることはないと思いますよ」(夏泊)

(30) 「ああ、なるほど、そういうわけでしたか。それじゃあ、神主さんはいることはいるので、それで、神主さんの名はなんていうんでしょうか?」(夏泊)

次の例では、独話的なものを対者的に用いていると言える。

(31) 野田 さんが答えた。「言葉への関心が高まっているのでしょうか。国語や類語の辞典がよく売れますよ」。(朝日)

(32) 「何時になれば出発できるんでしょうか」と不安そう。(朝日)

天気予報は「想像」用法だが、これは原稿を読み上げている点で純然たる話し言葉でもなく、また、待遇用法の「でしょう」が用いられる点で純然たる書き言葉とも言えない。

3. 終助詞用法

3.1 終助詞用法の条件

次の例のように「だろう」が話し言葉で文末に用いられると、聞き手に話し手の「想像」が向けられて聞き手の反応を求めることになるので、単なる「想像」の表出にはとどまらなくなる。

(33) 女性：家近くなんでしょ? お入んなさい

子供：いいの?! (コボ)

(34) 近城さん、「世界味めぐり」の取材の時には、どうして助手の方を連れてこないんですか? カメラの機材、一人でかつぐの大変でしょう? (美味)

(35) 松波さんにしてもお姉さんにしても、跡取り同士でお互いに結婚できない状態にあることは、最初から分かっていたはずでしょう? (長崎)

(36) 昔は「誰が政治家になっても、首相になっても同じでしょ?」なんて言う人ほど今の総理大臣の名前すら言えないじゃん! なんて思ってたんですが、さすがに僕もバカバカしくなってきました。(朝日)

(37) 駅員：ホントにようちえんなの!

父親：見りゃわかるでしょ。これが小学生に見えますか(コボ)

(38) 「そんなに焼き続けて、焦げちゃわないの?」

「大丈夫です。ほらベーコンの脂身からどんどん油が出て、フライパンにたまっていくでしょ。」(美味)

(39) 何をとぼけたことを言うか。わしがそんな長い時間、こんなところで待っているわけがないだろう。そんなに暇そうに見えるか?(カフカ)

「彼、明日来るかな。」という問に対して、特別なイントネーションを付けずに「来るだろう。」とは女性はもとより男性も言わない。「来るかなあ」「来ると思うよ」といった応答が普通で、「だろう」を使うなら、下降調に「来るだろ」「来るでしょ」と確信的に言うか、

もしくはそこに居合わせた第三者に上昇調で「来るだろ？」と確認する。文末の「だろう」の話し言葉での使い方は、基本的にこのように疑問調に上昇イントネーションで発話される場合と、下降調のイントネーションで発話する場合とに分けられる。上昇調で言えば話し手の考えを確かめることになり、下降調で言えば話し手の考えを押しつけることになる。¹

こうした終助詞と似た用法を持つ「だろう」は、次のような条件を満たしている。

1. 聞き手を要求する。
2. 短縮形になり得る。
3. 文末に置かれ、後ろに「か」を含め終助詞が見つからない。

近年話し言葉文末の「だろ」「じゃない」が確認要求の表現として取り上げられ、研究が活発に行われている。たとえば、森山(1992)、蓮沼(1995)、三宅(1996)、安達(1999)、宮崎(2002)など。

上にあげた条件の中で、1と2は問題ないと思われるが、3の条件については異論があるかもしれない。他の終助詞が見つかる場合というのは、次のような例をさす。

(40) 「急行？特急じゃなく？」

「寝ていけばどっちだって同じだろうさ」(スナーク)

(41) 「だったら、彼女、なぜ入社してこないのかしら？」

「さあねえ、それは、たとえ何もなくても、女性としてはやり切れないのとちがうかな。第一、こんなオジンと噂を立てられたのじゃ、泣くに泣けないだろうねえ。」

(博多)

(42) 本当に鍵をしめてきただろうね。(森山)

(43) 言い出しっぺは山岡だ。大丈夫だろうな。(森山：美味25)

この中で(40)(41)は、話し手、第三者に関することからについて同意を求めているもので、「だろう」が「想像」の意味をはっきりとどめている。(42)(43)は聞き手に向かって直接発話されているもので、森山(1992)は「伺い型の確認を表す」用法とする。確かに「だろう+終助詞」が確認を表しているが、これを上昇調の終助詞的な「だろ」と同

¹ イントネーションの問題について

上昇調、下降調というのはもとより絶対的なものではない。御園生(2000)「文末に現れるジャンナイの用法と韻律の分析をめぐる問題について」(『日本語 意味と文法の風景 - 国広哲弥教授古稀記念論文集 -』ひつじ書房)は、「じゃない」についての用法と韻律の関係を見たものだが、そこでは「言語形式はあいまいでなく、イントネーションはそれに加わる余剰的な情報として働いていると考えられる」こと、「文脈の有無が話し手の韻律情報の与え方・聞き手の解釈の仕方に影響を与えている」ことを指摘している。

じものと考えてよいかには疑問がある。森山(2001)は、「だろう疑問文は、形式としては疑問でありながら、聞き手の情報に依存しない」として、次のような例をあげている。

(44) (相手がわからないことを知っていて)この店のカレーおいしいだろうか。

(45) * (相手がわからないことを知っていて)この店のカレーおいしいか。

下の例(45)は、話し手が知らないことを聞き手に尋ねるものだが、上の例(44)は話し手だけでなく聞き手も知らないことを相手に確認している。すなわち、森山の指摘にあるように「聞き手の情報に依存しない」話し手の「想像」が疑問の形式をとっていると考えられる。鍵の(42)の例について言えば、これは聞き手に属することがらを話題にしている点ではカレーの店の例と異なるが、「だろう」が話し手の「想像」を表しているということは言えるだろう。終助詞が「か」ではなく「ね」の場合を考えてみよう。

(46) 明日の会議に来るね。

(47) 明日の会議に来るだろうね。

上の例(46)は、「明日来る」という客観的なことならについて、相手の同意を確認している。下の例(47)は、相手が明日の会議に来ることについての疑いを示している。それは、「明日の会議に来るだろう」という話し手の「想像」を「ね」によって確認しているためと考えられる。同じく、「鍵をしめてきただろうね」は、「鍵をしめてきただろう」に終助詞がついたもので、「鍵をしめてきただろ」に終助詞が付加したものではなく、「だろうね」が確認の意味を帯びるのは文末の「ね」の働きによると考えられる。文末の確認・押しつけの用法では、「だろ」は語気の強さを伴うのが普通だが、終助詞が付加することで対者的要素は文末の終助詞に委ねられ、「だろう」は、文内要素にとどまり、その結果、助動詞的な性格、「想像」の意味を強く残すと考えられる。そこで、終助詞と似た用法の「だろう」の成立条件の一つとして、「文末に置かれ、後ろに「か」を含め終助詞がつかない」ことがあげられると考えられる。

さて、文末の「だろ / でしょ」は、実際には次のように形にいくつかのバリエーションがある。

「だろ / でしょ」のバリエーション

女性：でしょ、でしょう

男性：だろ、だろう、たろ (=ただろう)、でしょ、でしょう

先に述べたように、確認・押しつけを表す「だろ / でしょ」という縮約形には「か」を含め

他の終助詞が付かなくとも考えられる。また、普通体の「だろう」類は、通常は男性しか用いない。

ここで「だろ／でしょ」を「じゃない」と比較しながら、もう少し詳しくその意味、用法を考えてみる。

3.2 確かめの「だろ・でしょ」（上昇調）

(48) 「海の幸といえば、石垣島に行くんでしょ？」

「もちろん、その予定ですよ。」（美味）

(49) 「沖縄では、正月はもちろん法事などの行事の際には、ほとんど必ず豚肉の料理が出ます。」

「でも、そんな行事なんてめったにないでしょう？」（美味）

これらの例では「じゃない」も接続可能だが、「でしょ」と同じ意味にはならない。「じゃない」は、形の上では「だ」の否定疑問で、それが上昇調に疑問の形で示されることで、否定疑問として話の内容を強める働きがある。この「じゃない」が上昇調に発話される場合には、名詞・ナ形容詞述語は「学生じゃない」「暇じゃない」とそのままの形だが、イ形容詞・動詞述語の場合には「遅いんじゃない」「行くんじゃない」と、「の」を挿入して述語を名詞化する必要がある。すなわち、「じゃない」では客観的なことがらで確認されていると言える。「でしょ」も「じゃない」も確かめの意味で用いられてはいるが、「でしょ」の場合は話し手はことがらについて確信的な感じがある。「じゃない」では話し手は聞き手が話の内容について知っているかどうか確信がなく、思いこみがないという点で客観的である。そこで聞き手の意向を問う文では「じゃない」が使えない。

(50) Aクラスの田中さんは今度の旅行に参加するん{でしょ・じゃない}。

(51) 君、今度の旅行に参加するん{でしょ・*じゃない}。

3.3 押しつけの「だろ・でしょ」（下降調）

「だろ」を下降調で言い切ると、話し手の考えを聞き手に押しつけることになる。

(52) 子1 「ねー見て見て おかしいよー さとしくんたらねー」

子2 「よしなよ みんなに言いふらすことないでしょ」

子1 「だっておかしんだもん」（コボ）

(53) 「ごめんね。びっくりしたでしょ」

「そうでもない」（スナーク）

(54) 子：昨日、体操着学校に持って行くの忘れて、困っちゃった。

親：だから、早めにカバンに入れておきなさいって、言ったでしょ。

(55) 「疲れているみたいに見えます」彼女はうなずく。「そうね。疲れると、ずいぶん歳をとって見えるでしょう」「そんなことはありません。」(カフカ)

次の例は、「でしょ」「じゃない」のどちらでも言えるが、意味は異なる。

(56) 彼の絵、上手{でしょ・じゃない}。

「でしょ」では話し手の考えを聞き手に押しつけているのに対して、「じゃない」は客観的に主張する。彼と話し手との関係は「でしょ」では聞き手より話し手側に近く、「じゃない」では話し手と聞き手と等距離にある。神尾の「縄張り理論」が思い起こされる。神尾(1989)は、文の表す情報が話し手聞き手のどちらに近いが、どちらの縄張りに属するかによって文形が異なることを論じている。神尾で具体的に論じられているのは終助詞の「ね」が中心だが、終助詞に限らず、日本語の指示詞、待遇表現の使い分けにおいてもこの縄張り問題は重要な使い分けの基準になっていると考えられる。この考えを用いて言えば、「だろ・でしょ」は話し手の縄張りを聞き手の縄張りにまで押し広げようとする働きをしていると考えられる。次の例を見てみよう。

(57) 彼の絵、上手{でしょ・じゃない}。

(58) 君の絵、上手{*でしょ・じゃない}。

(59) 私の絵、上手{でしょ・*じゃない}。

(58) が成り立たないのは、「君の絵」が話し手の縄張りに属さないためである。しかし、次の例のように、聞き手がそのことについて間違った認識を持っていて、「君の絵」が聞き手の縄張りに属さないことが明らかならば、聞き手に向かって「でしょ」の使用が可能である。

(60) ここにいるんな人の絵がある。よく見てごらん。こうやってみてみると、君の絵、なかなか上手でしょ。

また、話し手自身のことについては「でしょ」による押しつけが可能だが、「じゃない」は使いにくい。しかし、私の絵の良さを、話し手自身も発話の場で気づいたときには「じゃない」の使用が可能になる。

(61) あら、よく見たら私の絵、なかなか上手 { *でしょ・じゃない }。

以上の観察から「でしょ」が使えない場合として次の場合があげられる。

話し手のみが知りうることから。たとえば、話し手の過去、将来の予定、感情など。しかし、個人的でない聞き手も知り得る話し手の特性ならば可能になる。

(62) *私、頭が痛いでしょ。

(63) 私、頭痛もちでしょ。

聞き手についての客観的情報

(64) *あなた、元気そうでしょ。

話し手・聞き手がある場で共感しあう内容、もしくは、客観的に定まっている考え。

(65) *向こうに立っている人、センスいいでしょ。

(66) A : 山田さん、亡くなったんだって。

B : え、本当? 信じられない。

A : *人間て、いつ何が起こるかわからないでしょ。

3.4 「気付け」の「だろ/でしょ」「じゃない」

「でしょ」と「じゃない」の上昇調には気付け用法がある。

(67) あそこに歩道橋が見える { でしょ・じゃない }。晴れた日は、あそこから富士山が見えるんだ。

(68) 女性 : 私たちのクラスに中村って子いた { でしょ・じゃない }。

男性 : 背が高かった?

女性 : そう、彼、今モデルしているんだって。

(69) そこに赤いボールペンがある { でしょ・じゃない }。取ってくれる?

(70) 女性 1 : 会議は何曜だった?

女性 2 : 今日が火曜 { でしょう・じゃない }、だから木曜ね。

(71) 「この間、私、東京に帰ったでしょう?」禎子は話した。「はあ」「あのとき立川に行ってみたんです」(三宅)

(72) 仮に 30 人来るとする { だろう・じゃない・よね }。そしたら一人五千円の会費で、15 万円くらいの予算で行けるよ。(蓮沼)

こうした用法をわざわざたてるのは、「じゃない」のふるまいが特別だからである。「じゃない」は上昇調に発話するときには、動詞・イ形容詞には「の」を付加して名詞化することが必要だが、この用法では「の」を必要としない。話し手が自分の判断を聞き手に確認するのではなく、現に話し手・聞き手の目の前にあるもの、共通の記憶にあるはずのもの、共通に想定できるものを、話し手が聞き手に気づかせている。²「でしょ」と「じゃない」の違いはわずかではあるが、「だろう」の方が、話し手の想像を呈示する意味合いが強く、「じゃない」は聞き手への問いかけ性が強いと感じられる。

以上、「確かめ」「押しつけ」「気づかせ」の三つを「だろう」の終助詞用法の主立ったものとするが、これらの用法の基本的な意味には、「だろう」の持つ話し手の主観的な「想像」の意味合いが含まれていると言える。

「だろう」の用法

	基本的意味	付加の意味	
助動詞		書き言葉 独り言 天気予報	接続助詞が付加
	想像	婉曲 話し言葉	終助詞が付加 短縮形も可能
		確認 気づかせ 押しつけ	

終助詞

4. まとめ

本稿では助動詞から終助詞に至る「だろう」の用法をみてきた。「だろう」は話し手の主観的な想像を表すものだが、それが第三者ではなく現に目の前の聞き手に向かって発話されると、新たな意味が加わる。すなわち、一方では、言い切れることがらに「想像」の形を使うことで話し手の遠慮を示すことができる。また、一方では、文末の語気の強さ、イントネーションをともなって「話し手の主観的な想像」であることが強調され、聞き手に確かめたり話し手の想像を押しつけることになる。そして、ある事態への話し手の判断を聞き手に確

² 蓮沼(1995)はこの用法を「共通認識の喚起」とよぶ。

認したり、押しつけたりするこの「だろ・でしょ」は、話し手の縄張りを聞き手の縄張りにまで押し広げようとする働きをしていると考えられる。三枝(2001)で文末の「だ」がモダリティ性を持ち、ムードに関わることを論じたが、その活用形である「だろ」も同じ側面を持っていると言える。

例文出典

- 美味：『美味しんぼ 28』雁屋哲 小学館
長崎：『長崎殺人事件』内田康夫 光文社
博多：『博多殺人事件』内田康夫 光文社
幽霊：『イーハトーブの幽霊』内田康夫 中央公論新社
夏泊：『夏泊殺人岬』内田康夫 講談社
幸福：『幸福な朝食』乃波アサ 新潮社
温泉：『温泉教授の温泉ゼミナール』松田忠徳 平凡社
コボ：『コボちゃん』植田まさし 蒼鷹社
塩狩峠：『塩狩峠』三浦綾子 新潮社
カフカ：『海辺のカフカ』村上春樹 新潮社
ハード：『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』村上春樹 新潮社
スナーク：『スナーク狩り』宮部みゆき 光文社
朝日：朝日新聞 日経：日本経済新聞

参考文献

- 安達太郎 1999 『日本語疑問文における判断の諸相』日本語研究叢書 11 くろしお出版
奥田靖雄 1984 「おしはかり(一)」『日本語学』12月
1985 「おしはかり(二)」『日本語学』2月
神尾昭雄 1989 「情報のなわ張りの理論と日本語の特徴」井上和子編『日本文法小事典』
金田一春彦 1953 「不変化助動詞の本質 - 主観的表現と客観的表現の別について - 」『国語国文』
(服部四郎他編 1978 『日本の言語学』3巻所収)
日下部文夫 1956 「口語動詞の活用の考え方」『岡山大学法文学部学術紀要』8
三枝令子 2001 「「だ」が使われるとき」『一橋大学留学生センター紀要』4
寺村秀夫 1984 『日本語のシンタクスと意味 2』
三上章 1955 『現代語法新説』(1972年復刊)くろしお出版
1963 『日本語の構文』くろしお出版
三宅和宏 1996 「日本語の確認要求的表現の諸相」『日本語教育』69号
宮崎和人 1996 「確認要求表現と談話構造「～ダロウ」と「～ジャナイカ」の比較」『岡山大学

文学部紀要』25

2002「確認要求」『新日本語文法選書4 モダリティ』くろしお出版

宮田幸一 1948『日本語文法の輪郭』三省堂

森山卓郎 1992「日本語における推量をめぐって」『平成3年度科学研究費補助金総合研究(A)研究成果報告書』(後に『言語研究』101に掲載)

2001「終助詞「ね」のイントネーション-修正イントネーション制約の試み-」音声

文法研究会『文法と音声』くろしお出版

蓮沼昭子 1995「対話における確認行為 「だろう」「じゃないか」「よね」の確認方法」仁田義雄編『複文の研究(下)』くろしお出版